

大多喜小学校だより



電話番号 82-2804

FAX 82-2968

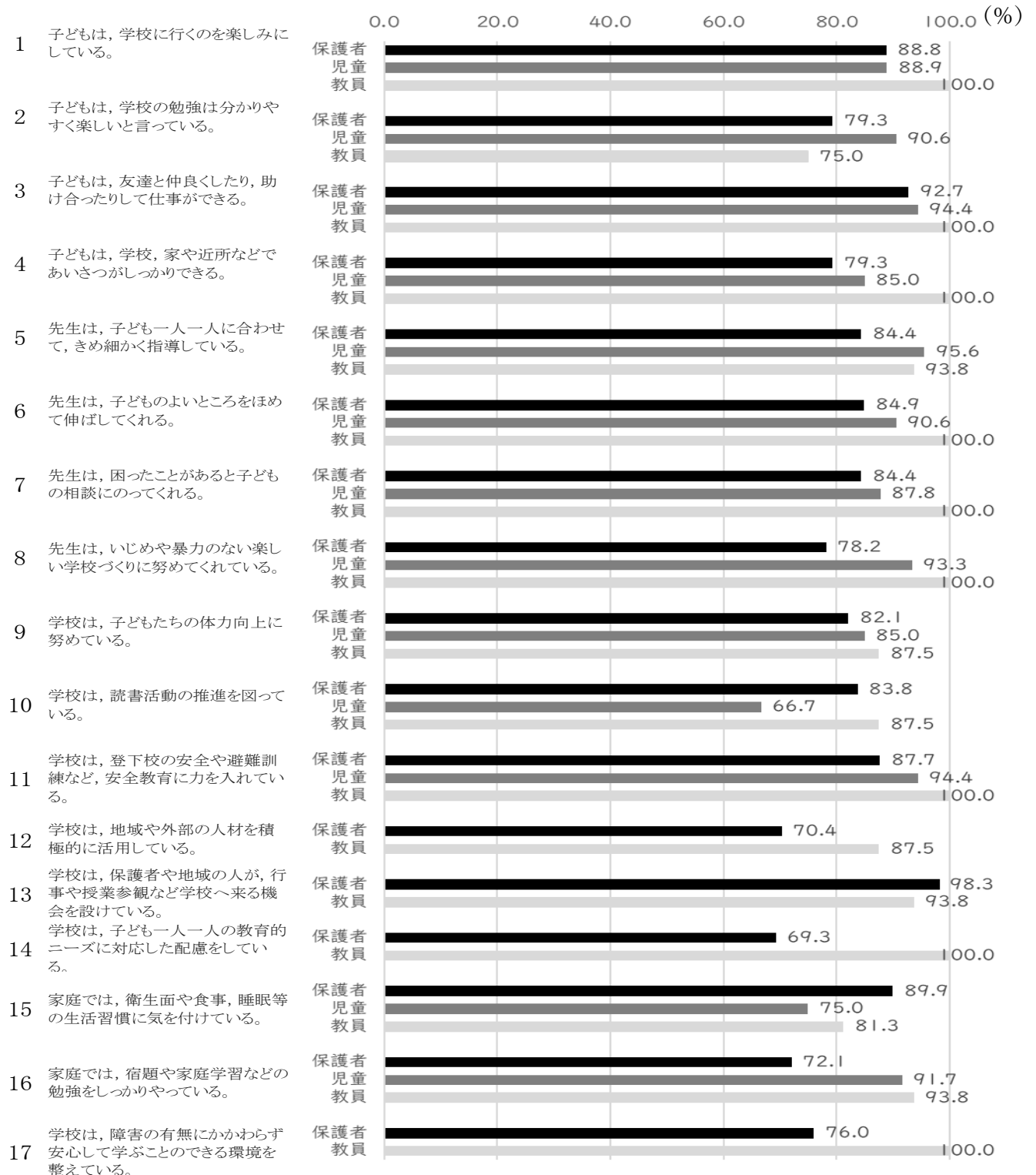
学校だよりNo.6

ホームページ <http://www.chiba-a.jp/otakies/>

令和7年9月17日

☆学校評価保護者アンケート結果の考察（令和7年度・前期）

保護者アンケートへ御協力いただきましてありがとうございました。結果と考察についてまとめました。今後の教育活動に反映していきます。



【児童】①～④

- ・①『学校に行くのが楽しみ』について保護者の肯定的回答は88%（児童88%）、②『勉強がわかりやすいと感じる』については保護者79%（児童90%）で、児童の回答とは差が見られました。
- ・②『勉強がわかりやすい』に否定的な回答をしている児童は5%おり、昨年度と比較して減少していますが、児童一人一人のつまずきや困っていることなど、個々の児童へきめ細かな指導を継続していきます。専科指導担当や、スクールサポートスタッフと連携を図り、複数の職員で児童をサポートしていきます。
- ・③『友達と仲良くしたり、助け合ったり』については、保護者92%（児童94%）、となっており、友達との交流が豊かな学校生活につながっていると考えられます。今後とも仲良く協力し合えるよう学級経営を充実させていきます。
- ・④『挨拶』については、保護者の79%（児童85%）が肯定的な回答でした。運営委員による挨拶運動や、校長による正門での見守り時の挨拶活動、教室では担任が日常的に指導等を継続している成果が上がってきているようです。ご家庭での挨拶も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

【教師】⑤～⑧

- ・教師に関する質問については、⑤『きめ細かく指導している』⑦『相談に乗ってくれる』については、保護者の肯定的な回答がともに84%と昨年度より7ポイントと大きく上がりました。担任が一人一人に寄り添った支援をしていることがうかがえます。
- ・⑥『先生は褒めてくれる』については、保護者84%（児童90%）と、昨年度とほとんど変わらない数値を維持しています。引き続き一人一人のよさを認めていけるようにしていきます。
- ・⑧『先生はいじめや暴力のない学校づくりに努めている』についての保護者の肯定的な回答は、78%でしたが、「わからない」という回答が16%と高い数値になりました。学校では、今年度から、いじめの早期発見・未然防止のため月1回のアンケートとその後の個別対応など行っています。これらの学校での取組をお知らせするように努めてまいります。

【学校】⑨～⑭

- ・⑨『学校・体力の向上』については、保護者82%、児童については5ポイント上がり85%となり体力づくりについて充実しているととらえられているようです。
- ・⑩『読書活動の推進』は83%と、昨年度から引き続き6ポイント上がりました。今年度も朝読書の推進（毎週水曜日）、「読夢(ドリーム)の会」による読み聞かせ、レッツ5読書の日、町図書館との連携、読書館(デジタル図書)の活用等、さまざまな取組を継続しています。『いろいろな本を読んでいる』に対して、児童の66%が肯定的な回答で、昨年度より1ポイント上がりました。環境整備は行っていますが、読書の楽しさを味わえるような働きかけを工夫していきたいと考えております。
- ・⑪『安全教育』については、保護者87%（児童94%）が肯定的な回答でした。交通安全教室をはじめ、火災・地震を想定した避難訓練、引き渡し訓練など計画的に行い、児童が真剣に取り組むことで、災害時に慌てずに行動できるよう継続して行っています。また通学路については、PTAの危険箇所の点検をうけ、横断歩道旗の補充や歩道の草刈りなど、教育委員会と連携し、子供が安全に歩けるよう進めています。今後も順次危険箇所については、関係機関と連携して改善を行ってきたいと考えております。また保護者の皆様には、学童前駐車場の一方通行にご協力いただき、ありがとうございます。
- ・⑫『地域人材の活用』につきまして、「わからない」という回答が19%ありました。昨年度より3ポイントよくなっています。1学期は、読み聞かせボランティア・読夢の会、建築士会、環境整備ボランティア等に御協力をいただきました。2学期以降も地域ぐるみ福祉協議会（世代間交流事業）、お囃子等、地域の方に御協力をお願いする予定です。その様子は、学校だよりや学年だより、ホームページでお伝えし、保護者の皆様にお伝えいたします。
- ・⑬『学校へ来る機会』については、98%となっており、十分機会が確保できていると考えられます。
- ・⑭『教育的ニーズに対応した配慮』につきましては、肯定的回答69%、「わからない」22%と保護者の方には回答しづらいことであったと考えます。一人一人の児童に寄り添った支援を学校では行っていますが、具体的にどのようなことで判断したらよいか不明瞭だったことが数値に現れたと思われます。実際に行っている個々の支援について担任との情報共有等、日々の生活の中でご理解していただけるように努めてまいります。

【家庭】⑮～⑰

- ・⑮『生活習慣に気を付けている』について保護者の肯定的回答は89%（児童75%）、⑯『宿題や家庭学習などをしっかりやっている』については保護者72%（児童91%）と、昨年同様、児童の回答とは差が見られました。保護者の皆様には引き続き基本的な生活習慣の継続、宿題の確認など、お子さんの頑張りを認めつつ、さらに家庭学習が充実するよう見守りをお願いします。1学期に配付した家庭学習の資料を参考にしてください。
- ・⑰『障害の有無にかかわらず安心して学ぶ環境』につきましては、本年度より追加した項目です。肯定的回答76%、「わからない」20%の結果から、どのように判断したらよいか不明瞭だったのではないかと考えます。今後は、判断しやすくなるよう検討していきます。